

令和3年度 試験研究概要

《研究課題名》

下肢障害者の健康増進と就労を支える起立・移動支援機器の開発

《申請者》

フリガナ：コロカブシキガイシャ
所属機関・団体：Qolo 株式会社
職位・氏名：代表取締役 江口洋丞

《研究の概要》

当社は筑波大学における研究プロジェクトを前身とする筑波大学発ベンチャーです。これまで、下肢障害者として車いす使用者が日常生活全般で立って活動することを支えるモビリティ機器の研究・開発に取り組んで参りました。現在は事業化に向けて、自分の脚で立ち上がれるよう訓練を補助するリハビリテーション製品と、生活の中で立ち上がり移動することを支える立位モビリティ製品をそれぞれ開発しております。

これまでの研究においては、立位モビリティは生活全般を主眼に開発を進めて参りました。技術普及の観点から初期のアプローチとして車いす使用者の就労を支援する特性を与える方針です。

今後は、実現可能性が見えた研究試作段階といえる当社技術を高度化するために、(1)現場の課題を一層的確に捉えること、(2)試作品などを活用して課題解決を検証すること、(3)効果を学術的に検証し発表することで広くエビデンスの認知を得て技術の普及を図ること、の3点に取り組む必要があると考えております。

本研究では特に(1)の取り組みに重点を置き、開発の初期段階から現場ニーズを把握し、試作検証などを通して技術へ反映することでものづくり技術の高度化につなげるとともに、その過程で得られた学術的な成果の発信に取り組みます。その結果として、怪我や病気のあとに立ち上がって生活できる状態で日常生活へ復帰できる人の数を増やすことを目指します。これは、それぞれの生き方を現在よりも一層自由にするだけでなく、労働生産性の向上や座り続けることで生じる副次的な健康問題による医療費の削減を見込んでいます。